

中国語における 呼称・敬称の 選択と 呼びかけ行為の 実態

—あなたは、青年の李さんを
“小李！”と呼べるか？

11/16_土

13:00~14:30

立命館大学衣笠キャンパス
平井嘉一郎記念図書館
カンファレンスルーム

参加無料 (事前申込制)

講師：小野秀樹 氏 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

講演概要：

日常のコミュニケーションにおいて、「相手を呼ぶ」という行為は極めて頻繁に行なわれることであり、呼称や敬称の類の語はすべての言語において存在していると言って良いだろう。ただ、目の前の相手を「どう呼ぶか」、さらにその「呼びかけ」にはどういう「意図や意味」が籠められているのかは、決してすべての言語で等しいとは限らない。たとえば中国語の“小李”は、日本語では「李くん/李さん」と訳されるが、“小李”と「李くん/李さん」の意味や使い方は、似ているようで実はいくつかの相違点を有している。

本講義では、以上の問題意識に基づき、現代中国語（共通語）における「愛称・敬称の使い方」、「親族呼称を用いた呼びかけ」、「対話の最中における相手への呼びかけ」などを具体的なケースとして取り上げ、その実態を明らかにするとともに、中国人の対人関係についての意識や発話における意思と情報伝達の方式について考える。

お申込み・お問合せ先：立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム2階)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 アカデメイア立命21内

TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429 Mail：koza@st.ritsumeikan.ac.jp <http://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/>

